

ルーキーの下剋上宣言

# 亀代 VS チャン・キムの飛ばし対決が熱い!



昨年はD・ディスタンス歴代最高の311.29ヤードをマーク。理想の弾道は打ち出しが高くスピニングが少ないもの。「叩いてもボールが吹けず前に伸びてくれるところが気に入っています」



両腕を振りかぶる独特のルーティンは、脇を締めて上体を使ってしっかり打つためにやっている。「ドライバーに求めるのは迷いなく振れるやさしさです。Gドライバーはその意味ですごく信頼しています」

Gドライバー



G使いの  
熾烈な  
飛ばし合いに  
注目だ

期待の若手飛ばし屋

亀代順哉 Gドライバー・9度

95年生まれ。徳島県出身。限られた試合でやるべきことに集中するのが今季のテーマ。「Gに替えてHSが上がった」というショットは迫力満点

日本ツアー最強の飛ばし屋

チャン・キム Gドライバー・9度

90年生まれ。毎年、確実にステップアップすることが目標で今季はJTカップ出場を目指す。狭いホールに対応するマネジメント力にも注目

男子開幕戦で  
ギア調査

# 飛ばし屋たちは

# なぜGを選ぶ?

AAA  
ALBA AD ARENA

見どころ満載の男子ツアーが国内開幕!! 注目の若手や初優勝が期待される実力派、そして再び輝きを放とうとするベテラン。そんな選手たちがこぞって使うのがPINGのGシリーズだ!

9年目のシーズンを迎える永野は、いま最も初優勝に近いプロとして名前が挙がる。「常に優勝争いをするのが今年のテーマ。上位に顔を出していれば、チャンスは必ず来る。その時に勝てるように準備したい」と、今季の抱負を語る。そんな永野の持ち味のひとつが平均290ヤードを超えるビッグドライブだ。「順位よりも数字にこだわっています。今年も、平均290をクリアして去年以上の成績を残したい」。飛んで曲がない、は、誰もが理想とすること。そのためには思い切つて振ることが欠かせない。Gドライバーには「それだけの安心感がある」と全幅の信頼を寄せている。

信頼できるGドライバーで平均290ヤード越え!

ボーテック+タービュレーターで

ヘッドが走る

タービュレーター

前作比空気抵抗約37%減だからヘッドが走る



ボーテック

16年チャレンジツアー  
賞金王

塚田好宣

69年生まれ。千葉県出身。昨年は自信を取り戻した年と振り返る。「諦めない気持ちを持たせてくれるのがGドライバー。平均290ヤードと優勝を目指します」



球を曲げるタイプでしたが、Gに替えてストレートに。スイングも変えて調子が向上しました

曲がらない安心感があるから、結果的に飛距離が伸びました。成績も安定してきましたよ

16年ドライバー

平均飛距離 6位

永野竜太郎

88年生まれ。熊本県出身。安心して振れるからこそ、結果的に飛距離が伸びたというGドライバーを手に初優勝を掴む。「今ブレッシャーはないが、それを感じられるのも幸せなこと。緊張感の中で戦いたい」



飛ばし屋たちが  
絶大な信頼

Gドライバー

シリーズ史上最も空気抵抗が低く、早く振れる高速ヘッド。極薄クラウンの採用で、さらなる深・低重心を実現。スタンダードモデルに加え、ロースピンのLSテックと直進性に優れたSFテックの3モデル

## 伸びるコロがりのSIGMA Gが 初優勝の切り札です

Gはドライバー  
だけじゃない

シグマG

シグマGは  
16 Model

自分に合ったパターが  
16モデルの中から  
自由に選べる!



手に伝わる  
確かな感覚があるから  
フィーリングがピッタリ合う!

シグマGを手にした永野の第一印象は「不思議な感覚」だったそう。「手に伝わる感触よりも、いい意味で大人しいコロがり、最後のひと伸びがある。だから、しっかりとヒットできる」。自分のフィーリングと相反してコロがることなく絶賛する。また永野は同じパターを長く使えないタイプなので、「16モデルあることは心強い」という。目指すは1ラウンドのパット数30未満。「25くらいでいけたら、良いゴルフができている」。ウィニングパットを沈める日が迫っている!



永野竜太郎  
シグマG-TYNE



亀代順哉  
シグマG-TYNE

ベバックス

インパクトの衝撃を和らげつつ反発力がUP。ソフトな打感と確かな転がりを両立

TR溝

打点によって溝の深さを調整し初速が安定。ミスヒットでも距離と方向性が向上

打感が柔らかいので  
タッチが合わせやすく、アグレッシブに攻めていけます

チャン・キム  
シグマG-ANSER2  
(プラチナム)

SIGMA Gの  
最新テクノロジー

